

2025年3月12日

岡山県知事 伊原木隆太様

民主県政を求めるみんなの会

## 政治資金規正法虚偽記載事件の知事自身からの説明を求める申し入れ書

NHK 岡山放送局は2月27日に、「伊原木知事の後援会をめぐる政治資金規正法違反事件で、後援会が知事の父親から提供を受けた1億円を超える資金を返済したように装うため、知事自身が代表を務める資金管理団体から後援会側に返済の原資となる架空の寄付を計上するなど、政治資金収支報告書への虚偽記載が繰り返されていたことがNHKの取材で新たにわかりました。伊原木知事はNHKの取材に対し、「後援会に聞いてほしい」と述べ、この件について説明しませんでした。」と数回にわたり報道しました。

この報道にかかわって知事が代表を務める資金管理団体「隆友会」の収支報告書を確認しました。平成25年分（2013年）から知事名義で1000万円の寄付が令和4年分（2022年）まで行われています。知事は「後援会に聞いてほしい」と自ら説明していませんが、本人が『寄付』したと申告しているわけですから、自ら説明することができるはずですが、

報道では政治とカネの問題に詳しい日本大学の安野修右専任講師は、伊原木知事が自身に関連する政治団体の問題について明確な説明を行っていないことについて、「国政レベルでこんなことがあれば、その政治家は失職せざるを得ない。自分の身の回りで起きたことでさえ、説明することができないような人が岡山県政全体の行き先とか、あるいはお金の使いみちをちゃんと説明できるのかと感じる。自分のことを当事者性を持って処理することができるのが政治家であり、真摯につまびらかにしてほしい」と話しています。

知事は一体どうなっているのか県民の疑念・不信は高まっています。政治資金規正法は、「政治活動が国民の不断の監視と批判の下に行われるようにするため、政治団体に係る政治資金の収支の公開などにより政治活動の公明と公正を確保し、もって民主政治の健全な発達に寄与すること」を目的としています。

公共放送としてのNHKが「虚偽記載」と断じて報道した知事が代表の「隆友会」の政治資金収支報告書について、本人の『寄付』も含め、明確な説明を求めます。